

部 報

平成25年度 No.59

北海道大学馬術部



◆ 目 次 ◆

巻頭書	井上 京	2
前主将より	平芳 悠人	4
活動報告		5
調教報告		
北創号	平芳 悠人	17
北焔号	松尾 慧	19
北凜号	小山 寛	21
北柊号	平芳 悠人	23
北葉号	松尾 慧	25
北藍号	東谷 貴	26
北兎号	平芳 悠人	28
チェリーアドミラル号	笹原 良平	29
北魁号	東谷 貴	31
北驪号	平芳 悠人	33
入厩報告		
ピュアメモリー号	梶山 恭子	34
ベリエE号	中津 裕太	35
北水報告	大石 岳人	36
卒部にあたって		37
部員紹介		42
OB名簿		50
現役部員名簿		51
編集後記		67

井上 京

馬術もスポーツである以上、何らかのリスクは避けられない。しかしそのリスクを最低限に留める努力を放棄してはならない。リスクの芽をつみ、より安全なクラブ活動である必要がある。以下、いくつかの気になったことを記しておく。

1. 放馬

残念ながら今までに何度か放馬をおこしている。馬が公道にまで出てしまったことも二度ならずある。まったく幸いなことにこれまでは大事に至っていないが、この次もまた放馬しても、無事である保証は何もない。むしろハインリッヒの法則から考えれば危険は高まっている。昨年、ある地方競馬の厩舎から放馬した競争馬が公道を走る自動車と衝突し、人命に関わる事故が発生している。対岸の火事ではない、明日は我が身と考えるべきである。

放馬対策として、抜本的には敷地入口のゲートの移設と閉門の習慣づけが必要だ。しかし今のゲート位置には欠陥がある。ゲートの移設を大学本部に継続して要請するが、それまでは自ら予防措置を強めなければならない。現状は、ロープが2本、部室前の通路一箇所に張り渡してあるだけで、バックアップがなく、何とも心許ない。そのロープすら張られていないこともしばしばだ。

部員には放馬のリスクをいつも認識し、その危険性をできるだけゼロにする努力と習慣をもってほしい。万一の放馬に備え、せめて放馬止めのロープを二箇所に設けるなどのバックアップの手立てを取って、最悪の事態にならないようにしてほしい。

2. 落馬

落馬は上達のために不可避であると考えるなら、それは大きな間違いである。落馬はむしろ上達には大きな障害になる。身体的損傷も心理的ダメージも発生する。特に初心者の落馬は指導する者に責任がある。いかに落馬のリスクを減らし、安全な状況で練習をするか。そのためには運動の内容とその難易度の理解、使う馬の状態の冷静な見きわめ、臨機応変な運動の組み立てと的確な指示、などが求められる。まさしく、指導する立場となるためには馬術そのものを向上させる必要がある。

騎乗者に鞍上の安定したバランスを獲得させること、これが落馬を回避する王道であり近道である。そしてこのことは、高度な乗馬技術を習得し、さらに調教能力を獲得するためにも必須のことでもある。

3. 馬の手入れや移動

最近の馬は人によく手なずけられておとなしく、癖馬といわれるものは少なくなつた。でも馬がおとなしいことでかえって人の方にスキができていないだろうか。馬の後ろ直ぐを歩いたり、馬と馬を不用意に接近させたまま馬装を解いたり乗り替わったり、というのが目につく。

馬がおとなしくなっても、本質的に大変臆病な動物であるという点に変わらない。何かのきっかけでそっばをしたり、突進したり、走り出したりすることもある。そんなとき、とっさにどんな行動を取って危険を回避するか、普段の馬への接し方、扱い方からよく考え、実践すべきだ。

さらに、不用意に馬を叱ることでかえって馬を不安にし、危険を増していることもある。馬への懲戒は本当に難しい。一番望ましいのは、そのような場面に至らないように仕向けること、懲戒しなくて済むようなものごとをはこぶことだ。普段の接し方、馴致、人と馬の関係の確立が重要となってくる。

馬のこと以外にも、馬術部の活動の中では普段の作業、馬運車等の自動車運転、それに自転車移動や飲酒といった人の活動中のリスクがある。これら活動も含めて、どこに危険が潜んでいるか、まず危険を認識すること、そして気配りすることだ。

つまらない怪我や故障で大事な時間と資産を失わないこと、そして有意義なクラブ生活を過ごせることを願っている。

前主将より

平 芳 悠 人

まずは、一年間主将を努めさせていただきありがとうございました。私はそのおかげで多くのことを学ぶことができ、今後の人生においてかけがえのない経験をさせていただきました。

さて、皆さんにここで考えていただきたいことがあります。

私は何をしたかったと思いますか？

きっと理解できないことも多々あるとは思いますが、全てに理由があります。

皆さんでぜひ考えていただきたいと思います。

(一部のOBの方にはお見せし、お話しさせていただきましたが、私は主将を努めるにあたり、馬術部の基本方針や運営方法等の計画書のようなものを代替わり時に作成いたしました。そして、それを部報に掲載すると言っておりましたし、するつもりでした。しかし、今の馬術部の状況(現役のことだけではない)を見て、そうするのではなく、皆さんに考えていただく方がいいと思い、掲載しないことにしました。)

今現在、主将の方、そしてこれから主将となる方へ

部員を家族だと思って愛情をたっぷり注いでください。あなたは部員の人生を背負っています。あなたの行動が部員の今後の人生に大きく関わってきます。その責任の重さをしっかりと感じ取り、強い覚悟を持って務めを果たしてください。部員を守ることができるのはあなただけです。

最後に

皆さんがこの北大馬術部での経験をもとに、これから幸せな生活を送っていただけることを心より願っております。

活 動 報 告

《主将》

東 谷 貴

現在の部の状況ですが、部員は4年7名、3年3名、2年5名の計15名、馬は13頭で活動しています。昨年全日学では2走に3頭で団体出場、総合に1頭出場しましたが、北日で2走総合団体優勝した年から全日に出場する人馬数、成績共に下降しています。さらに平芳兄が卒部され、現役の中に経験者がいなくなりました。経験者がいないだけでなく、部員も2,3年が少ないため、部員（特に2, 3年）の技術向上を早急に行う必要があります。また、部馬も高齢化が著しく故障馬も多いため、新馬の育成、馬の出し入れ等も同時に考えていく必要があります。

さらに運営面等も含めると、問題が山積しています。問題にばかり目を向けると非常にしんどく楽しくない部活になってしまいます。部活が楽しくないとモチベーションは上がりません。部員のモチベーションが上がらないと、何をしてもそれほどいい効果は期待できません。そのため問題があればあるほど、部活が良くなる余地がまだまだあると捉え、ポジティブにこの状況に立ち向かっていこうと思います。

《副将》

中 津 裕 太

馬術部としての活動は、主に騎乗面と運営面の二つに分けられると思います。どちらの面もこの部活にとって重要であり、蔑ろにすることはできません。しかし、全日学での団体入賞という高い目標を掲げた際に部内での役割や立場として個人がどちらかに偏らざるを得ない場面が生じていると感じます。このような場面でも個人が自分の役割の中で最大限に努力をすることで互いを信頼し尊敬することができ、チームとして良い結果を残すことができるのではないかと思います。

また、どちらの面もOBの方々やお世話になる方々のサポートなしでは成り立たないため、今後はさらに大学生として当たり前前の礼儀やマナーを大事にすることが必要だと考えています。副将として率先して当たり前前の事を行い、北大馬術部をより信頼してもらえる集団にしたいと思います。

〈主務〉

梶山 恭子

9月より主務を引き継ぎました。主務として大会運営、学校側との連絡、重要書類作成等、事務面を行ってきました。北海道乗馬連盟より任せていただいた3つの競技会の他に、北大馬場で行う2つの競技会では、円滑に運営できますよう準備から不備のないよう指示していきました。昨年より始まり、第2回となりましたほくだいホースショーでは部員全員で話し合ったことが実現でき、より部活に一体感が生まれ良かったと思います。

馬術部はOBの方々、馬術連盟、乗馬クラブ等の大きな援助で成り立っていることを認識し、常に感謝の気持ちを持つと同時に、恥ずかしくない行動を心がけるよう部全体で見直しあって活動していきたいと思っています。

〈馬匹〉

佐藤 詩織

馬が怪我や病気をするという事それ自体は、馬を練習に使えなくなるという「損害」である一方、馬が「苦痛」を感じるということでもあります。北大の硬い馬場で長時間運動する馬たちは体に負担を受けやすく、中には慢性的な跛行を抱える馬もいます。私たちは何を考え馬と接するべきなのでしょう。馬術部員は大学生活のうち多くの時間を馬と共に過ごしています。その時間は単に馬のために費やす時間ではなく、自発的に考え、観察し、知識を養う時間となるべきだと思います。

私たちは、ほとんどの人が大学から馬術を始めた素人ですから、よく馬を観察し、馬を見る目を磨かなければならないと思います。例えば馬の元気がない様子やイライラに気付く、腫れや熱に気付く、跛行に気付くなど、色々あると思います。わかったつもりで慢心せず、より深く馬を知る努力を続けていくべきだと思います。またそうした努力を日々怠らず続けていけば、馬の故障や体調不良にいち早く気づくことができるはずです。部員同士で情報を共有しつつ、馬体管理の向上に努めていきたいと思っています。

最後に、OBの方々に支えて頂いたことをお礼申し上げます。特にノーザンファームにお勤めの川崎さんには度々お世話になりました。感謝してもしきれません。今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。

《後援会》

松村 萌美

今年は例年通り、年間4回のコンパを主宰し、初乗りなどを通して現役部員とOBの方々との交流を持たせていただきました。また、OB戦をほくだいホースショーと合わせて行なうことで、より活気のある大会となりました。多くの方々にご参加いただき、ありがとうございました。

馬術部は全国に散らばる多くのOBの方々及び、特別後援会員の方々のご支援ご声援により存続しており、また、道大会、北日、全日など多くの試合で現役の力となっており、誠に感謝しております。今後とも末長く北大馬術部をよろしくお願い致します。

また、郵送費節約のため、メールによる連絡を進めております。コンパの案内などの連絡が届いていない方は、お手数をおかけ致しますが、hokudai_bajutsubu_2013@yahoo.co.jpまでご連絡下さい。よろしくお願い致します。

《飼糧》

佐藤 詩織

現在馬に与えている飼糧は1食あたりヘイキューブ約1kg、燕麦約1kg、ふすま0.3kg、NB（ノーサンバランサー）0.1kgと塩大さじ1杯で、1日3回に分け給餌しています。またヘイキューブとふすまはお湯でふやかして与えています。上記に加え、乾草約1.5kgを朝・昼・夕・夜の4回与えています。

乾草は長岡さんからバイト代としていただいている他、不足分は山本ファームさんから購入しています。ボロ山は4月・11月に北大農場に回収していただき、また随時農家の加藤さんに引き取っていただいています。

《会計》

谷口 宏平

今年は競馬場の夏季の開催が行われず、収入の減少が予想されましたが200万円近くの黒字となりました。その大きな理由として部員全体で多くのアルバイトを行ったことや、昨年に引き続きほくだいホースショーを実施したこと、そして様々な面で不足分をOBの方々にご寄付していただいたことにあります。大変ありがとうございました。

今後も今年のようにアルバイトによる収入増があるとは限らず、まだまだ安定した財政状況にあるとはいえないので、会計に関して長いスパンでの見通しを持つとともに、これからもOBの方々にはご理解とご支援の程よろしくお願い申し上げます。

2013年1～12月会計報告

収入の部

部費	1,812,841
モモセバイト代	502,875
競馬場バイト代(ポニー)	139,860
ウエスタンバイト	43,500
馬輸送バイト代	70,000
お祭りバイト	40,000
さとらんどバイト代	184,740
ライディングヒルズ静内バイト代	202,000
白井牧場バイト代	813,560
中曽根さんバイト代	60,000
内国産乗用馬市場バイト代	126,000
農場バイト代	592,870
ノーザンバイト代	562,370
ノーザンバイト代(乗馬倶楽部振興協会)	60,000
ハイジバイト代	524,700
橋本牧場バイト代	10,000
フセバイト代	94,000
マオイもほりバイト代	15,000
松下先生バイト代	40,000
オータムセールバイト代	175,000
サマーセールバイト代	230,000
セクションセールバイト代	120,000
セレクトセールバイト代	180,000
トレーニングセールバイト代	330,000
乗馬振興金(北創)	10,000
体育会強化費	379,694
道大会役務費	600,000
春自馬馬輸送補助費	15,400
春自馬収入	249,800
半澤杯収入	289,000
ほくだいホースショー収入	166,000
道馬連60周年式典手伝い	52,350
その他	184,100
寄付	31,085
繰り越し	265,593
計	9,172,338

支出の部

衛生	18,047
企画	72,393
北日幹事	46,140
後援会	70,531
交通	1,204,836
作業	42,315
飼糧	1,708,363
車両	1,100,226
装蹄	1,156,354
大会関係	220,955
通信	34,023
馬匹	173,041
馬備	17,608
ビデオ	17,030
薬品	195,040
その他	1,024,336
バイト交通費	91,350
計	7,192,588

$$\begin{aligned}
 (\text{収入}) - (\text{支出}) &= 9172338 - 7192588 \\
 &= 1979750
 \end{aligned}$$

◆ 2013年度 戦績 ◆

●第41回 半澤記念馬術大会

(於：北海道大学 5月3日～4日)

☆複合馬場					得点率	
4位	小山 寛	北凛	北海道大学(3)	45.057		
☆L1課目					得点率	
6位	松尾 慧	北兎	北海道大学(4)	47.356		
☆A2課目					得点率	
2位	中津 裕太	北兎	北海道大学(2)	51.274		
5位	梶山 恭子	北菓	北海道大学(3)	49.705		
9位	笹原 良平	北兎	北海道大学(3)	45.057		
☆100cm					減点	タイム
2位	東谷 貴	北魁	北海道大学(3)	0	63.71	
☆80cm					減点	タイム
8位	山谷 亮介	北菓	北海道大学(3)	0	75.87	
10位	佐藤 詩織	チェリーアドミラル	北海道大学(3)	7	85.15	
3反E	荒井 駿	北菓	北海道大学(3)			
☆クロスバー					減点	タイム
3位	林 はるか	チェリーアドミラル	北海道大学(2)	4	91.13	
☆ジムカーナ					減点	タイム
2位	新谷 理紗	チェリーアドミラル	北海道大学(2)	0	123.23	

●第27回 北海道新緑馬術大会

(於：ノーザンホースパーク 5月17日～19日)

☆標準小障害A					減点	タイム
14位	東谷 貴	北魁	北海道大学(3)	8	65.14	
☆標準中障害D						
2反E	小山 寛	北凛	北海道大学(3)			
標準小障害C part1					減点	タイム
11位	山谷 亮介	北柊	北海道大学(3)	4	78.48	
標準中障害B					減点	タイム
6位	平芳 悠人	アルケミー	北海道大学(4)	4	65.56	
7位	中津 裕太	チェリーアドミラル	北海道大学(2)	4	70.14	
☆小障害A S&H					タイム	
6位	小山 寛	北凛	北海道大学(3)	95.04		
☆中障害C S&H					タイム	
7位	東谷 貴	北魁	北海道大学(3)	117.53		
☆標準小障害C part2					減点	タイム
1位	山谷 亮介	北柊	北海道大学(3)	0	72.7	
8位	東谷 貴	北菓	北海道大学(3)	2	95.59	
☆A4課目 part1					得点率	
8位	笹原 良平	北菓	北海道大学(3)	47.753		
☆					得点率	
10位	笹原 良平	北菓	北海道大学(3)	42.463		

●第52回 国立七大学総合体育大会馬術競技会

(於：福岡県馬術競技場 6月1日～2日)

優勝 北海道大学

準優勝 東北大学、九州大学

●北海道三大学定期交流戦

(於：酪農学園大学 6月2日)

優勝 酪農学園大学

準優勝 帯広畜産大学

3位 北海道大学

●第48回 北海道春季馬術大会

(於：ノーザンホースパーク 6月21日～23日)

標準小障害A

8位 小山 寛 北澤 北海道大学(3)

減点 タイム J.O.減点 J.O.タイム
0 79.48 4 56.23

☆標準中障害D

10位 松尾 慧 北畑 北海道大学(4)

12位 東谷 貴 北魁 北海道大学(3)

減点 タイム
15 91.12
16 78.21

☆公認競技 標準中障害C

1位 平芳 悠人 北創 北海道大学(4)

減点 タイム J.O.減点 J.O.タイム
0 66.28 0 46.46

☆標準中障害C

OPEN 東谷 貴 北魁 北海道大学(3)

OPEN 松尾 慧 北畑 北海道大学(4)

減点 タイム
28 72.96
8 76.73

☆標準小障害B

9位 松尾 慧 北葉 北海道大学(4)

14位 佐藤 詩織 チェリーアドミラル 北海道大学(3)

減点 タイム
6 89.71
14 90.43

☆小障害A S&H

8位 松尾 慧 北葉 北海道大学(4)

タイム
85.81

☆公認競技 標準中障害C S&H

4位 平芳 悠人 北創 北海道大学(4)

タイム
76.79

☆標準中障害C S&H

8位 東谷 貴 北魁 北海道大学(3)

タイム
122.2

☆標準小障害B

8位 中津 裕太 北海道大学(2)

減点 タイム
0 72.15

標準小障害C

3位 林 はるか チェリーアドミラル 北海道大学(2)

減点 タイム
5 80.46

☆2スターA

4位 松尾 慧 北葉 北海道大学(4)

得点率
52.068

☆A4課目

5位 笹原 良平 リトルフロスティ 静内乗馬スポーツ少年団 49.628

得点率
49.628

☆A4課目 part2

5位 笹原 良平 リトルフロスティ 静内乗馬スポーツ少年団

☆2スターA

2位 平芳 悠人 北創 北海道大学(4)

得点率
55.976

●第68回 国民体育大会北海道ブロック大会 兼 第60回 北海道体育大会

(於：ノーザンホースパーク 7月19日～21日)

☆標準小障害A					減点	タイム
2反E	松尾 慧	北葉	北海道大学(4)			
2反E	中津 裕太	チェリーアドミラル	北海道大学(2)			
OPEN	松尾 慧	北葉	北海道大学(4)	4	63.18	

☆標準中障害C					減点	タイム
7位	東谷 貴	北魁	北海道大学(3)	24	78.32	

☆標準小障害C					減点	タイム
1位	東谷 貴	北藍	北海道大学(3)	0	55.1	

☆標準小障害B part1					減点	タイム
OPEN	東谷 貴	北藍	北海道大学(3)	0	50.46	

☆2スターA part1					得点率
1位	松尾 慧	北葉	北海道大学(4)	52.758	

☆標準中障害C S&H				
2反E	東谷 貴	北魁	北海道大学(3)	

☆標準小障害A part2					減点	タイム
5位	東谷 貴	北藍	北海道大学(3)	4	74.45	

☆標準小障害B				
2反E	佐藤 詩織	チェリーアドミラル	北海道大学(3)	

●第38回 創立60周年記念北海道馬術大会

(於：ノーザンホースパーク 8月8日～11日)

☆標準小障害C part1					減点	タイム
1位	佐藤紗恵	ミナミノゴージャス	静内農業高校	0	61.14	
2位	土井綾人	スマレ	静内農業高校	0	61.84	
3位	若生五月	トップオブポストン	モモセラディングファーム	0	66.70	
4位	林はるか	チェリーアドミラル	北海道大学(2)	0	71.07	
2反E	伊丹奏雪	北兎	北海道大学(1)			

☆標準小障害B part1					減点	タイム
1位	山島龍一郎	キタサンガッツ	新冠乗馬スポーツ少年団	0	56.62	
2位	高志優也	驛宝	酪農学園大学	0	58.65	
3位	伊藤真大朗	キタサンガッツ	新冠乗馬スポーツ少年団	0	60.21	
8位	中津裕太	ベリエE	北海道大学(2)	0	68	
13位	山谷亮介	北柊	北海道大学(3)	4	62.71	

☆標準小障害A					減点	タイム	J.O. 減点	J.O. タイム
1位	大浦一平	ルーラバン	ノーザンファーム	0	68.15	0	52.04	
2位	東谷貴	北藍	北海道大学(3)	0	62.12	4	49.43	
3位	松尾慧	北葉	北海道大学(4)	0	64.53	8	53.98	

☆標準中障害C					減点	タイム
1位	加藤天明	コルト	ライディングチームK S	1	72.53	
2位	菊池広朗	フェットウデメゾン	ノーザンホースパーク	4	70.96	
3位	梁川正重	グラン・ルージュ	札幌乗馬倶楽部	12	63.81	
2反E	東谷貴	北魁	北海道大学(3)			

☆標準中障害B				減点	タイム
1位	広瀬祥吾	ウーター	チェスナットファーム	5	74.78
2位	平芳悠人	北創	北海道大学(4)	12	65.43
☆ステップアップジャンピング				減点	タイム
1位	鎌田彩楓	ピース	白井牧場不二ファーム	0	60.37
2位	鎌田彩緒	ピース	白井牧場不二ファーム	0	66.73
3位	布施直哉	スマレ	静内農業高校	0	67.96
2反E	笹原良平	北兎	北海道大学(3)		
☆標準中障害C S&H					タイム
1位	広瀬楓	ウーター	チェスナットファーム	69.5	
2位	宮永美寿津	サニーHV	ノーザンホースパーク	73.57	
3位	梁川正重	グラン・ルージュ	札幌乗馬倶楽部	76.82	
2反E	東谷貴	北魁	北海道大学(3)		
☆標準中障害B S&H					タイム
1位	平芳悠人	北創	北海道大学(4)		
2位	広瀬祥吾	ウーター	チェスナットファーム		
☆標準小障害B part 2				減点	タイム
1位	川合達啓	ゴーステディ	ノーザンホースパーク	0	61.06
2位	門叶和樹	ゴールドソーサー	ノーザンホースパーク	0	65.84
3位	田中恭子	マイネルエスケープ	ほくせい乗馬クラブ	0	68.43
落馬E	佐藤詩織	ベリエE	北海道大学(3)		
☆ノックアウトスラローム					
☆1回戦Aブロック					タイム
	富崎 亮太	ピュアメモリー	北海道大学(1)	61.09	☆
	佐治 ひな子	チェリーアドミラル	北海道大学(1)	65.78	
	津田 みや	プリンセス	ノーザンファーム	91.07	
	中 一輝	ベリエE	北海道大学(1)	66.65	☆
☆1回戦Bブロック					タイム
	伊藤 海彦	ピュアメモリー	北海道大学(1)	58.47	☆
	大村 侑	チェリーアドミラル	北海道大学(1)	63.37	
	津田 みや	たぬき	ノーザンファーム	落馬E	
	澤田 和平	ベリエE	北海道大学(1)	79.54	☆
☆2回戦Aブロック					タイム
	富崎 亮太	ピュアメモリー	北海道大学(1)	55.85	☆
	中 一輝	ベリエE	北海道大学(1)	73.75	
☆2回戦Bブロック					タイム
	伊藤 海彦	ピュアメモリー	北海道大学(1)	59.41	☆
	澤田 和平	ベリエE	北海道大学(1)	63.03	
☆3位決定戦					タイム
	中 一輝		北海道大学(1)	34.50	☆
	澤田 和平		北海道大学(1)	34.59	
☆決勝					タイム
	富崎 亮太	ピュアメモリー	北海道大学(1)	55.53	☆
	伊藤 海彦	ベリエE	北海道大学(1)	57.6	

●第49回 北日本学生馬術大会

(於：ノーザンホースパーク 8月29日～9月2日)

☆学生賞典障害飛越競技

				一走目減点	二走目減点	合計減点
1位	中原 捷伍	テノリオ	酪農学園大学	8	4	12
2位	関口 美加	柏幹	帯広畜産大学	4	12	16
3位	平芳 悠人	北創	北海道大学(4)	8	8	16
4位	富士原 光	柏桜	帯広畜産大学	9	8	17
5位	松本 隆平	柏海	帯広畜産大学	8	12	20
6位	松尾 慧	北焔	北海道大学(4)	8	14	22
7位	大迫 敬史	雪嵐	北里大学	12	12	24
8位	舟田 亮太	駿龍	酪農学園大学	20	12	32
9位	東谷 貴	北魁	北海道大学(3)	16	20	36
10位	阿部 巧	駿天狼	酪農学園大学	16	20	36
11位	鬼窪 峻大	柏嵐	帯広畜産大学	32	8	40
12位	大迫 敬史	雪勇	北里大学	16	33	49
13位	佐藤 燎	レーヴェトワール	岩手大学	24	29	53
2反E	平野 優	駿割	酪農学園大学	500		
2反E	山谷 亮介	北柊	北海道大学(3)	500		
落馬E	山口 洋	ブライト・オア	弘前大学	500		

☆学生賞典総合馬術競技

				調教減点	耐久減点	余力減点	総減点
1位	平芳 悠人	北創	北海道大学(4)	59.139	0.0	0	59.139
2位	富士原 光	零	帯広畜産大学	68.1045	5.6	8	81.7045
3位	松本 隆平	柏海	帯広畜産大学	77.76	0	4	81.76
4位	中原 捷伍	テノリオ	酪農学園大学	70.518	6.4	8	84.918
5位	瀬戸 雄大	エベレストクライマ	酪農学園大学	67.587	0	20	87.587
6位	舟田 亮太	駿龍	酪農学園大学	64.656	20	8	92.656
7位	佐藤 燎	レーヴェトワール	岩手大学	68.4	20.0	8	96.4
8位	富士原 光	柏楓	帯広畜産大学	69.657	46.8	6	122.457
9位	関口 美加	柏幹	帯広畜産大学	79.1385	44.4	32	155.5385
10位	阿部 巧	駿天狼	酪農学園大学	77.07	89.2	12	178.27
2反E	奥井 達也	マキシマムブレイズ	酪農学園大学	75.0015	23.6	2反E	
落馬E	野中 穂	グラスキッド	岩手大学	67.932	63.2	落馬E	
落馬E	鬼窪 峻大	柏輪	帯広畜産大学	72.243	0	落馬E	
耐久E	平野 優	駿割	酪農学園大学	64.4835	4反E		
耐久E	小山 寛	北凜	北海道大学(3)	69.4845	3反E		
耐久E	松尾 慧	北菓	北海道大学(4)	69.828	3反E		
耐久E	山谷 亮介	北柊	北海道大学(3)	77.76	3反E		

☆小障害飛越競技A

				減点	タイム	J.O. 減点	J.O. タイム
1位	岡 健	スラマティンガル	酪農学園大学	0	59.53	1	48.51
2位	横山 くるみ	雪嵐	北里大学	0	51.4	8	47.14
3位	深田 琴子	テノリオ	酪農学園大学	4	58.45		
5位	中津 裕太	ペリエE	北海道大学(2)	5	62.5		
6位	梶山 恭子	チェリーアドミラル	北海道大学(3)	17	62.87		
2反E	東谷 貴	北藍	北海道大学(3)				
落馬E	佐藤 詩織	ペリエE	北海道大学(3)				

☆小障害飛越競技B

				減点	タイム	J.O. 減点	J.O. タイム
1位	山田 香奈	スラマティンガル	酪農学園大学	0	54.75	0	41.57
2位	石橋 珠生	雪嵐	北里大学	0	59.17	0	43.84
3位	赤星 涉	福燕	福島大学	0	60.43	6	53.09
落馬E	笹原 良平	北克	北海道大学(3)				
落馬E	林 はるか	チェリーアドミラル	北海道大学(1)				

●第27回 北海道秋季馬術大会

(於：ノーザンホースパーク 9月20日～22日)

☆公認競技・中障害D				減点	タイム	J.O. 減点	J.O. タイム
1位	白井 岳	アミュレット	白井牧場不二ファーム	0	83.53	0	50.59
2位	鈴木 重雄	フルオブワンダー	モモセライディングファーム	0	78.79	0	53.09
3位	東谷 貴	北柵	北海道大学(3)	0	82.84	13	73.14
4位	小山 寛	北漣	北海道大学(3)	8	82.33		

☆標準小障害C part1				減点	タイム
1位	松田 友和	キタサンガッツ	新冠乗馬スポーツ少年団	0	56.62
2位	城 憲司	緑宝	酪農学園大学	0	58.65
3位	大原 要	キタサンガッツ	新冠乗馬スポーツ少年団	0	60.21
6位	小山 寛	北驪	北海道大学(2)	0	68

☆標準小障害B part1				減点	タイム
1位	河合 連啓	ゴーステディ	ノーザンホースパーク	0	66.69
2位	水沼 功	ニキ・ラウダ	ほくせい乗馬クラブ	0	66.89
3位	村上 恵祐	アロンプロスト	ほくせい乗馬クラブ	0	68.24
8位	笹原 良平	北菓	北海道大学(2)	4	72.39
18位	梶山 恭子	北菓	北海道大学(2)	12	79.64
落馬E	佐藤 詩織	ベリエE	北海道大学(2)		

☆公認競技・中障害D S&H				タイム
1位	鈴木 重雄	フルオブワンダー	モモセライディングファーム	71.69
2位	宮永 美典津	ミヤノリュウオー	ノーザンホースパーク	76.54
3位	黒山 朋弘	ダンテライオン	三木田乗馬学校	77.99
4位	東谷 貴	北柵	北海道大学(2)	80.89
6位	小山 寛	北漣	北海道大学(2)	85.34

☆標準小障害B part2				減点	タイム
1位	小山 寛	北驪	北海道大学(2)	0	78.33
2位	白井 岳	ピュゼロ	白井牧場不二ファーム	0	78.34
3位	津田サマンサ	ビッグレッド	ノーザンファーム	0	78.39
11位	梶山 恭子	北菓	北海道大学(2)	4	79.34
2反E	笹原 良平	北菓	北海道大学(2)		
2反E	佐藤 詩織	ベリエE	北海道大学(2)		

●第33回 山下杯・河田杯記念馬術大会

(於：酪農学園大学 10月6日)

☆標準小障害C				減点	タイム
3位	林 はるか	緑宝	北海道大学(2)	4	68.94

☆クロス障害				減点	タイム
1位	富崎 亮太	マキシマムブレイズ	北海道大学(1)	0	61.53
2位	大村 侑己	マキシマムブレイズ	北海道大学(1)	5	74.07
3位	中 一輝	緑宝	北海道大学(1)	10	92.31
4位	佐治 ひな子	緑宝	北海道大学(1)	11	96.53

☆ジムカーナ				タイム
OPEN	東谷 貴	ワッフル	北海道大学(3)	74.38

●第2回 ほくだいホースショー

(於：北海道大学 10月12日～13日)

☆60cmクラス				減点	タイム
2位	富崎 亮太	北菓	北海道大学(1)	0	55.32
3位	佐治 ひな子	シャガール	北海道大学(1)	0	55.69
4位	中 一輝	チェリーアドミラル	北海道大学(1)	0	
5位	大村 侑己	シャガール	北海道大学(1)	0	57.38
8位	松尾 慧	シャガール	北海道大学(4)	0	59.1
21位	林 はるか	チェリーアドミラル	北海道大学(2)	4	66.41

☆クロスバー障害				減点	タイム
5位	澤田 和平	チェリーアドミラル	北海道大学(1)	4	56.6
	梶山 恭子	ピュアメモリー	北海道大学(3)	8	7478

☆ジムカーナ				減点	タイム
1位	佐藤 詩織	サクラアムール	北海道大学(3)	1	63.21
2位	谷口 宏平	ピュアメモリー	北海道大学(1)	4	75.95
3位	清水 麻優美	ピュアメモリー	北海道大学(1)	6	84.81

☆A2課目 part2				得点率
7位	佐治 ひな子	北椏	北海道大学(1)	47.499

☆100cmクラス				減点	タイム	J.O. 減点	J.O. タイム
1位	東谷 貴	北菓	北海道大学(3)	0	61.03	0	40.13
3位	梶山 恭子	北菓	北海道大学(3)	0	61.34	0	46.4
2反E	中津 裕太	ベリエE	北海道大学(2)				

☆110cmクラス			
2反E	中津 裕太	北椏	北海道大学(2)

●第36回 札幌地区乗馬大会

(於：北星乗馬クラブ 10月27日)

☆70cmクラス				減点	タイム
	大村 侑己	北菓	北海道大学(1)	0	87.99
	富崎 亮太	北菓	北海道大学(1)	0	93.49
	東谷 貴	北驍	北海道大学(3)	4	108.94
	中 一輝	北菓	北海道大学(1)	6	102.14
	佐治 ひな子	北菓	北海道大学(1)	8	109.91

●全日本学生馬術大会

(於：東京馬事公苑 11月1日～6日)

☆学生賞典障害飛越競技

				一走目減点	一走目タイム	二走目減点	二走目タイム	総減点	合計タイム
1位	小関 ひかり	バーデン・バーデン	関西大学	0	79.49	0	82.00	0	161.49
2位	山田 晃嗣	ヒトリローナ	関西大学	4	78.32	0	77.63	4	155.95
3位	萬浪 至甫	ローラレット	関西大学	0	82.67	4	82.78	4	165.45
17位	関口 美加	柏爵	帯広畜産大学	8	75.80	12	74.91	20	150.71
25位	平芳 悠人	北創	北海道大学(4)	16	79.22	16	76.09	32	155.31
28位	富士原 光	柏桜	帯広畜産大学	22	107.91	12	78.12	34	186.03
32位	阿部 巧	驃天狼	酪農学園大学	20	75.30	16	80.09	36	155.39
39位	鬼窪 峻大	柏嵐	帯広畜産大学	20	82.25	20	84.38	40	166.63
46位	松本 隆平	柏海	帯広畜産大学	24	76.58	24	81.24	48	157.82
51位	東谷 貴	北魁	北海道大学(3)	40	76.74	40	74.60	80	151.34
2反E	中原 捷伍	テノリオ	酪農学園大学	16	83.93	E			
2反E	松尾 慧	北焔	北海道大学(4)	E		24	73.20		
2反E	平野 優	驃劉	酪農学園大学	E		E			

☆学生賞典総合馬術競技

				調教減点	耐久減点	余力減点	総減点
1位	大森 康平	明鳳	明治大学	49.1	2.0	4	55.1
2位	見目 瑛	エンドーペロー	専修大学	48.7	0.0	8	56.7
3位	柿澤 小夜子	桜単	日本大学	46.5	6.4	5	57.9
20位	平芳 悠人	北創	北海道大学(4)	62.4	22.8	12	97.2
21位	中原 捷伍	テノリオ	酪農学園大学	80.0	20.0	0	100.0
24位	松本 隆平	柏海	帯広畜産大学	67.9	31.6	16	115.5
25位	瀬戸 雄大	エベレストクライマ	酪農学園大学	66.3	42.0	17	125.3
27位	富士原 光	柏楓	帯広畜産大学	67.7	77.2	8	152.9
耐久E	平野 優	驃劉	酪農学園大学	66.9	WD	-	-

●第53回 北日本馬場馬術定期新人戦

(於：東北大学 11月24日)

☆予選Aブロック

			得点率
富崎 亮太	ラストィ		44.12
澤田 和平	杜焔		43.68
佐治 ひな子	社円舞		50.29

澤田、佐治は各馬賞

3位 北海道大学

※上位1位が決勝進出のため予選敗退

●第85回 全日本学生馬術選手権大会

(於：東京馬事公苑 12月14日)

☆1回戦

				得点率
Fグループ	平芳 悠人	北海道大学(4)	ブルーベルファスト	57.044
	深谷 峻平	愛知学院大学		55.075
	松坂 元彰	神戸大学		53.863
	古本 拓也	岡山大学		52.423

☆2回戦

				得点率
Lグループ	吉井 崇師	甲南大学	モンドール	61.439
	折原 冬弥	日本大学		59.847
	平芳 悠人	北海道大学(4)		59.772
	後藤 正聖	京都産業大学		58.863

※上位2名が決勝進出のため予選敗退

調教報告

◆北創（サクラスベリオール）◆



セン サラ 黒鹿毛
平成13年4月9日生
北海道静内郡静内町産
父 サクラローレル
母 サクラヒーロー
平成18年6月24日入厩

平 芳 悠 人

今年北創を担当させていただいて3年目であるが、今年が一番全日の成績が悪かった。今年最後であり、全日でも十分戦えると言うことを証明して、次の代に託そうと思っていたが、残念ながらそれは叶わなかった。しかし、手応えとしては十分全日でも戦える状態にはなっている。

障害に関してはまだ落下が気になるが、総合に関して言えば、上位を十分狙えるレベルには到達していると思う。今年の敗因は、馬事坂で馬が躊躇し、一反抗をとられたことであるが、その他は問題なく通過し、もう少しでタイムインできるところまできている。馬場は今年も暴れてしまったものの、昨年と比べれば格段に制御が効くようになっている。

もともとのポテンシャルが高いため、あとは人と馬の意思疎通を確かなものにしていけば、総合はなかなかいいところをねらえるのではないかと思う。

馬の評価ばかりをしていても仕方が無いので、調教に関して私の考え方等を以下に書いておこうと思う。私もまだまだ未熟ではあるが少しでも参考になればと願っている。

まず基本的な考え方は「馬の気持ちを考え、分かりやすく、シンプルに」トレーニングを行うというものである。ここに書くのは調教に関してなので、まず騎乗技術の基本（馬の邪魔をせず安定して乗ることができ、馬とのコンタクトがとれる状態）ができていることが前提である。

このやり方で、北創は成長してきたし、北柊の立て直しも順調に進んでいた。さらに、他の馬に関しても着実に成長している。

まずはこの考え方を大事にさせていただきたい。これさえ守っていれば、大きく間

違ったことをすることは無いと思われる。

以下には具体的なトレーニング内容を少しだけ載せておく。ただし、馬によってやるべき内容は違うし、これがベストだと言う保証も無い。また、やり方を間違えれば逆効果となりうるものがほとんどである。よく注意してやっていただきたい。あえてそれぞれの注意事項や効果は書かないが、障害に関しての大原則だけは書いておく。

「馬を絶対止めないこと」

これだけは守ってほしい。

バウンス

高さ20~60cmの垂直を2.8~3mの間隔で並べたもの。

ジムナスティック

これは気になる場所ではあると思うが、書ききれないので、各自資料を調べてもらいたい。

低いコース

高くても1mまで。これを完璧にするのはなかなか難しい。

野外

狭い障害

ブロックを立てたものなど、高さは必要ないが、できるだけ狭いものを確実に跳べるようにする。

有酸素運動

リラックスした状態でゆっくりな駆歩を、20分ほど手前を変えながら続けたり、速い常歩を長時間続ける。

何か特別なことを期待していた人には申し訳ないが、こういった基本的なトレーニングをしていくことが重要だと思う。余り難しいことをやっても馬も分からないし、なによりそんな難しいことはできない。もちろん、工夫をこらす必要はあるが。

さて、これで私が部報に調教報告を書くのは最後になるが、皆さんに馬の調教に關してお願いしたいことがある。

まずは上に書いたような考え方を大事にしてもらいたい。そして馬を愛し、馬のために尽くしてもらいたい。そしてここで注意してほしいのは、その愛が自己満足になっていないかということである。馬は言葉も話さないし、非常に健気な生き物である。だから、人間が馬の気持ちを常に考え本当に今やっていることが馬のためになっているのかを常に考える必要がある。ぜひこのことを忘れないでいただきたい。

最後になりますが、今までご支援ご指導していただいた方々には深く感謝しております。本当にありがとうございました。

今後、北創が北大のエースとして活躍し続けてくれることを心より願っております。

◆北焔号（ファイアーマリオ）◆



セン サラ 黒鹿毛
平成6年3月25日生
北海道白老町社台牧場産
父 トウショウマリオ
母 アンバーエルン
平成21年10月31日入厩

松 尾 慧

マリオに関しては、ログキャビンとは違い前年の全日本学生が終わった時点で、自分が担当し、翌年の全日本学生を目指すことが決まっていたので、一年間他の人が乗ることはほとんどなかった。これまでもこの馬はチーフ以外が乗ることがほとんどなかったもので、すごい馬だといわれてもどれ程優れているのかは想像することしか出来なかった。このように自分にとっては未知の馬ではあったが、担当する前から自信があった（根拠などまったくないが）。三年間先輩方が乗っているのを見ればそう思うのも当たり前だったのかもしれない。また、自信と同時に不安もあった。実は、この馬には馬術を初めて間もない頃、当時担当していた出戸兄に一度速歩までさせてもらったことがあった。何も経験がないのに、この馬の跛行はすぐに分かる程であった。この時の騎乗により、マリオは全日本学生で活躍できる力は持っているが、維持するのが非常に難しいというイメージが自分の中に出来てしまったのだろう。自分がマリオを担当して騎乗する前に持っていたマリオのイメージは、

- ・全日本学生に出れる
- ・全日本学生で完走できる
- ・脚の状態が不安である
- ・激しく暴れる

この程度であった。

実際にマリオに騎乗し始めたのは、例年よりも早く、全日本学生が終わって一ヶ月もたっていない時期であった。ここから、マリオの調教が始まるのであるが、今考えてみると自分がこの馬に調教らしい調教はひとつもしていないと思う。一年間馬の体

調管理をしてきただけだと思う。騎乗面やその他で教えることよりも教えられることの方が圧倒的に多かった。調教報告を書かなければならないが、報告できることがほとんど思いつかない。ひたすら歩く。そして、跳ね回る。また歩く。これを毎日一時間続けた。もちろん、ただ歩くだけではなく、鼻先が地面につくくらい頭を下げさせること、前後左右への脚反応を意識しながら毎日歩いた。馬の飽きを感じれば、鞭を使ったり、折り返しの長さを変えてみたりするなど試してみた。

マリオとのはじめての試合は、滋賀県の水口乗馬クラブでの試合だった。この前に2ヶ月程、大浦牧場で休養&治療をしていただき、試合の一週間前から騎乗を開始し試合に臨んだ。治療したとはいえ脚が痛いことには変わりなく、飛びすぎず、少ない回数の飛越で終われるように心がけた。この試合前の練習で初めてマリオの駆歩、障害飛越を経験し、あらためてこの馬の素晴らしさが分かった。しかし、練習でも飛越後は脚が(特に右前肢)腫れてしまい、毎日水冷が欠かせなかった。長時間の運動では脚に負担がかかりすぎるので、速歩、駆歩、飛越は最小限にして、駆歩と常歩は使う筋肉が同じことから、試合前も常歩を多く取り入れるようにした。試合は、100cm、110cmに出場し、難なく帰ってくる事が出来た。

その後、北大に帰ってからは、少し休ませて春季大会では110cm、120cmに出場し、ここも難なくクリアできた。その後、北日本学生前に60周年記念大会に出場する予定であったが、春季大会後脚の状態が悪くなり、3週間後の本番のことも考えて見送ることにした。

その後も、脚の状態が思わしくなかったが、いつまでも休ませているわけにもいかず、速歩、駆歩も日々行うようにした。ただ速歩、駆歩をすると馬が痛い脚をかばってしまい、悪くなってしまうので、しっかり動かす運動を心がけた。北日本学生ではフレンドリーの水壕でつまずいたものの、二走本番ではクリアし、完走することが出来た。本番は強い雨で足場もひどく心配であったが、ここまで来たら脚の心配をせず、思いっきり行った。

北日後は、これまでの試合後よりも体調は良かった。やはり年齢的にも夏の暑さはきつかったのであろう。北日後一週間で常歩を開始することが出来た。全日に向けて良い状態ではなかったが、どうしようもなく悪い状態でもなかった。全日本学生本番では結果は残せなかった。二走目に帰ってきたのもあり、非常に悔いの残る結果に終わってしまった。しかし、二走目は帰ってきたということは、馬にはまだ全日本を完走できるだけの力があるということがわかったため、来年は是非完走してもらいたい。

最後に、マリオには乗り始めてから、最後の試合も含めて非常に多くのことを教えてもらった。失敗から学ぶことが非常に多くマリオは不快であったかもしれないが、マリオには本当に感謝している。

◆北凛号（ネイチャーヒーラー）◆



セン サラ 栗毛
平成10年4月11日生
米国Mrs.Miles Valentine産
父 Valiant Nature
母 Mintullah
平成18年9月18日入厩

小 山 寛

自分がネイチャーに騎乗していた期間は3月から10月でした。結果を言えば、北日学は総合のみに出場したのですが、野外で失権し、全日学に出場することはできませんでした。ネイチャーも15歳となり、馬にとってこの年が最も大事な年であったのに、無駄な時間を過ごさせてしまいました。思い起こせば後悔することばかりですが、自分の失敗の中からも後輩の為になることがあればと思い、時系列に沿って書いていこうと思います。

ネイチャーは背中や肢にかなりダメージを負っていて、自分が乗り替わった時は、長期の休養明けで、ようやくそのダメージが少し回復したところでした。しかし無理をすればまたすぐに体を痛めると言われており、自分はなるべく馬の肢に負担をかけずに運動させていく必要がありました。

3月はLA・MDの試合に出場しました。その時は馬も調子が良く、どんどん前に出ていく状態で、MDは1落下で完走することができました。

5月には馬ともっと摩擦なく、頭を下げて乗れることを目標とし、馬場の2スターにエントリーしました。しかし自分は不器用で、拳が固く、馬に柔軟についていくということができなかつたため、自分の馬の頭を下げようというアクションは馬にとって邪魔以外の何物でもありませんでした。結局馬と折り合いを欠いたまま馬場に出場したが、結果はやはり良くないものでした。そしてこの自分の乗り方が「巻き込み」を招き、続く新緑でのMD失権につながりました。馬がハミに対して向かう気をなくしてしまったのです。脚を使っても馬が前に出ず、走ろうと思っても走ることができませんでした。

この失敗を挽回すべく、6月に春自馬にはLAでエントリーし、試合前には平芳兄

にも乗ってもらい、いい状態にしてもらってから乗りました。その時の率直な感想は「動きが大きすぎて乗ってられない」というものでした。平芳兄は普通に乗っただけと言っており、その時自分はいかに馬本来の自然な動きを邪魔していたかを思い知ったのでした。LAは落下無しでジャンプオフまで進んだのですが、ジャンプオフの急回転で肢を痛めたのか、ひどい跛行をして、その後のMDを棄権し、野外馴致も取りやめになりました。馬の事を考えてジャンプオフは棄権するべきだったかもしれません。

それから跛行が長引き、まともに運動できるようになったのは北日の直前でした。自分は、野外走行は未経験だったが、馬を信じるしかないと思って試合に臨みました。調教審査は自分にしてはなかなかの出来でしたが、耐久審査はトラケーンで3反抗となりました。コントロールを失うことを無意識で恐れていたのか、スピードが全然足りておらず、馬のエンジンを切ってしまったのが失権につながったのだと思います。

秋自馬はLA、MDに出場し野外馴致もしたが、前に止まった障害も動かしていけば普通に跳ぶことができました。

シーズンを通して大事だと思ったこと、後輩に伝えたいことは3つ、人のコンタクトが馬にとって快いか、真っ直ぐ乗れているかを常に気にかけておくこと、馬と歯車が合わなくなったとき、上手な人に乗ってもらうのも良いということ、常に誰かに評価してもらおう姿勢を持つことです。偉そうなことを書いてすみません。

調教報告というより自分の反省文になってしまいましたが、これにてネイチャーの調教報告を終えさせていただきたいと思います。

◆北柊号（サクラロイヤル）◆



セン サラ 栗毛
平成13年4月9日生
北海道静内郡静内町産
父 サクラローレル
母 サクラユスラウメ
平成18年6月24日入厩

平 芳 悠 人

昨年全日が終わった時点でのロイヤルは「最悪の状態」であったと言えます。人間の扶助に対して怯え、正しい前進氣勢は失われ、全ての障害に対して躊躇するようにもなっていました。また、無理な練習や試合から、体はボロボロでした。この兆候はずいぶん前から現れていたのですが、それに気づく人は少なかったために状態がここまで悪化してしまったと思います。

ロイヤルの立て直しのためにまず行ったことは、馬を「リフレッシュ」させることでした。心身ともにほろほろになったロイヤルを長期間休める必要があると感じ、冬の間は曳き馬と放牧のみにとどめ、馬に嫌なことをできるだけ忘れてもらうことにしました。

その結果、体はだいぶ休まり体や心の病も少しは良くなったように感じました。

その後はとにかく馬が人に乗られること、人に指示されること、障害を跳ぶこと etcを好きになってもらうように、難しいことは一切せず、一に褒め二に褒め三に褒め。とにかく人間との信頼関係を取り戻すしかありません。それを繰り返していき、人間の指示に対して嫌な感じを見せなくなってから障害練習に移りました。まずは横木から。次に低いクロス、低い垂直、低いオクサー、低障害のコース。ひたすらこれらを繰り返し、できたら褒める。馬の上では絶対に邪魔をせず、馬に不快感を与えない。こうやって地道に人間との信頼関係を作っていました。

これらを繰り返した結果ロイヤルはどうなったのか。おそらく、試合の結果等からあんまり変わって無いじゃないか、むしろ昨年より成績は落ち馬の状態が悪くなっているじゃないかと思われる方はたくさんおられると思います。実際、皆様から多くの批判をお受けいたしました。しかし、私から見たロイヤルは昨年に比べ比較にならないほどよくなっていました。人の扶助におびえていた馬が落ち着いて扶助を受け入れる。障害前で蹴らないと跳ばなかった馬が、まっすぐ向かいさえすれば自ら障害

を跳んでくれる。北日では水郷障害を克服できず失権はしたものの、他の障害は捕まっているだけで跳んでくれています。しかもその跳び方やコース走行の様子は、昨年の、恐怖心で押しつぶされそうな馬の状態からはかなり改善されたように感じました。競技での成績がよくなかったのは、騎乗者への指導が至らなかったからでしょう。もちろんこれは私の責任であり、申し訳なく思っております。

ロイヤルは私たちにとても大切なものを教えてくれました。馬と真摯に向き合い、信頼関係を気づくことが何よりも大切だということ。後輩の皆さんにはこれを第一に考え、馬と接していってもらえることを願っています。

◆北葉号（ログキャビン）◆



セン サラ 栗毛
平成8年3月8日生
アメリカ産
父 Woodman
母 Great Christine
平成21年9月15日入厩

松 尾 慧

「北葉・・・山本兄・・・松尾」という言葉を一年生のとき何度聞いただろうか。一年生の頃、ログキャビンには毎日のように乗せていただき、馬配でなくとも、ほぼ毎日のように乗せてもらったログキャビン。事情があって、現役生活残り3ヶ月の時点で自分がチーフになった。担当し始めた時点で、非常に頭の位置が高く、左が硬かったが、障害に関しては非常に積極的であった。障害に関しては、物見はするが押せば飛ぶということが分かり、あまり心配はしていなかった。心配であったのは鞍傷で、特に反動の大きな馬なので、頭を上げた状態で運動していたことが原因ではないかと考え、折り返しを付けて乗るようにした。そのおかげで速歩に関しては、頭をある程度低い位置に持っていくことが出来るようになった。日々の運動は、常歩からはじめ、肩内、腰内、斜め横脚、ハーフパスなど馬場運動を多く取り入れるようにした。馬場運動は基本的な馬との約束事を確認するのに良いと考えたからである。

試合は春季大会から毎試合順調に高さを上げることができ、8月の岩谷氏の講習会で120cmのコースを難なくクリアできたことから馬に自信がついていることを感じ、自分も安心してしまいました。ここまで非常に順調に調整が進み北日を迎えたが、唯一気がかりだったのが野外であった。これまで、時間がとれず、野外馴致に一度も行かず本番を迎えてしまった。これまでの障害に対する積極さを見ていれば、野外も大丈夫であろうと楽観的に考えてしまったのがいけなかった。野外は馴致が一番大切。この言葉を何度も言われてきたが実践できず非常に後悔している。

◆北藍号（ビービーバンス）◆



牝 サラ 黒鹿毛
平成18年4月23日生
新ひだか町坂東牧場産
父 エイシンサンディ
母 エイシンデンバー
平成23年9月26日入厩

東 谷 貴

今シーズンでの大会での競技成績

OB戦	10/26	LC	減点4
国体予選	7/20	LC	減点0
		LB	減点0
	7/21	LA	減点4
北海道馬術大会	8/9	LA	減点0
北日学	9/2	LA	2反E

ビービーバンス（以下バンス）は北大に来て1年目は平芳兄が担当され、その後、僕が1年間担当しました。調教報告という名ではありますが、馬歴2年程度のものが新馬に調教をつけたといえるようなことはしてませんので、感想を書かせていただきます。

バンスはオリンピック選手の白井さんが初期調教をつけられ、その後平芳兄が調教されました。このようにバランスのしっかりした人に乗られているため、前進気勢があり、扶助に敏感ですぐに騎手が求めていることを理解する馬でした。そんな馬に僕が乗るとバンスは「おまえの求めていることがわからない」と言わんばかりに暴れました。引っ張りながら脚で推進といったようにバランスがとれない僕は知らず知らずのうちに矛盾する扶助を与え混乱させていたように思います。そのため、秋冬の間は僕が悪くした状態を平芳兄に乗って戻してもらいながら練習していました。実力不足で馬上で馬を制御できなかったのですが、制御できないのは馬上だけではありません

でした。牝馬の若馬ということもあり、非常に繊細であったため、日頃の手入れや曳馬でもしっかりと制御できませんでした。

このように騎乗時も手入れ時も日々悩んでいましたが、悩みが吹き飛ぶことが起きました。それは1月下旬にフレグモーネになったことです。怪我をするとすぐにフレグモーネになってしまうのですが、今回は非常に衛生的に悪い冬馬房だったためか、今まで以上に腫れあがってしまいました。腫れが歩様に影響しなくなるまで5か月程かかりました。

フレグモーネで運動できなかつた期間は非常にもったいない期間ではありましたが、この期間に肢が痛くて暴れることができなかつたため手入れ中はおとなしく、この期間で手入れされること、人と接触することに少し慣れたのか、手入れ中に嘔んだり蹴ったりする回数が減りました。

騎乗においても以前より乗りやすくなりました。これはバンスが時が経ち大人になったのか、肢の状態が完治してなくて大人しいのか、僕の技術が多少上がったのかはわかりませんが乗りやすくなりました。結果としても現れています。昨年の秋のOB戦ではLCで制御できず走られただけでしたが、8月の大会ではLAをいいリズムで走行し満点で帰ってくる事が出来ました。

しかしその後また馬房内で怪我をしてフレグモーネを発症。すぐに治りましたが、その後の北日のLAでは準備不足で失権してしまいました。

ざっと1年の流れに沿って書きましたが、この1年バンスを通して感じたことは乗っているときよりも乗っていないときの方が大事だということです。バンスは手入れの時の機嫌が騎乗時に直結します。初心者の多い北大では普段の馬との接し方にもっと気を配り、馬との信頼関係を深めていくことで、馬の調教をもっといい形で行えるようになると思います。僕はバンスへのケアが足りず、何度も怪我をさせ、何度も機嫌を損ね、怒らせました。次にバンスを担当する人には騎乗時は勿論、それ以外にバンスに触れる機会毎に気を配り、いい関係を築いていけば結果はついてくると思います。

◆北兎号（サクラフォルツァ）◆



セン サラ 鹿毛
平成16年5月24日生
静内町新和牧場産
父 カリズマティック
母 サクラキャンドル
平成19日11月9日入厩

平 芳 悠 人

今年も昨年と同様、練習馬として頑張ってもらった。「フォルツァを北日に出す」と頑張ってくれたある部員のおかげもあって、問題なく練習をこなすことができた。北日に出すという彼の願いは叶わなかったものの、今年も練習馬として活躍してくれた。ただ、いつまでもここで練習馬として置いておくのは馬のためにも部のためにもプラスにはならないと思う。残念ではあるが離厩がこの馬にとってベストな選択ではないだろうか。

◆チェリーアドミラル号◆



セン サラ 芦毛
平成5年4月22日生
様似町川部牧場産
父 サクラユタカオー
母 チェリーユミコ
平成22年8月1日入厩

笹原良平

今年の4月から約半年間チェリーアドミラルに乗せていただきました。乗りやすい練習馬として維持することが目標でした。しかし元のような動きを維持することは難しく、自分の実力不足を実感しました。本当は、自分は担当につかせてもらうような実力はなく、早く上手くなり馬の状態を向上させ早く馬に返せるように目指しました。

毎日ちゃんと練習ができること、下級生が乗っても小障害の経路を安心して帰ってこれるよう維持することが目標でした。そのためには(1)馬体を維持すること、(2)馬が自分から障害を跳んでいることが重要だと思い、それぞれ達成できるように運動内容を考えました。以下に内容を書きます。

(1) 馬体の維持と書きましたが、高齢のためか冬の間に筋肉が落ちてしまっていたので元の馬体に戻さなければいけません。まず背中の筋肉をつけるため、頭を下げた状態でキャバレッティを毎日跨ぎました。自分の実力不足のため十分に馬を丸めた状態で運動できなかつたので、はじめの方はネクストレッチを使用しました。また馬が右駈歩を苦手としていて装蹄師さんに相談すると右駈歩をするための筋肉がつきにくいそうで、筋肉をつけるため右駈歩をしっかり動いた状態で長めにするようにしました。

(2) 馬が自分から障害を跳べるように、ほぼ毎日回数は少なめで障害を跳びました。馬の邪魔をしないように2ポイントで手綱フリーで跳びました。障害は馬の負担にならないようにほとんど低めのもので、馬が苦手な赤色の障害を多く、毎回ものを入れた障害も跳ぶようにしました。

担当になって一回目の大会では自分の実力不足のため拒止されることがありましたが、それは人のミスでその後拒止することはなかったので馬に問題はなかったと思います。しかし、上でも述べたが赤色の障害を嫌い避けられてしまうことが何度かありました。その大会の後、練習で何度も赤色の障害を跳ぶようにしてからは試合で避けられることはなくなりました。人の問題もあるが馬が苦手なので下級生でも帰ってこれるようにするためにも何度も跳んで馬に赤色の障害を当たり前に感じさせるようにした方がいいと思います。

最後に、チェリーは高齢になり年々歩様が悪くなっています。馬休日の次の日は良いが馬休日から日が経つにつれ悪くなっていきます。練習馬としてはそろそろ入れ替えるべきだと思いますが、今は下級生が乗っても安心して経路を回ることができるこの馬に代わるような馬はいません。それを考えるとまだチェリーには頑張ってもらわなければならないと思います。そのためには鞍数を加減し、なるべく馬の負担を減らして大切に使うことが重要だと思います。

◆北魁号（トウカイフラッグ）◆



セン サラ 黒鹿毛
 平成14年4月16日生
 新冠町長浜牧場産
 父 プライアンズタイム
 母 トウカイティアラ
 平成24年10月7日入厩

東 谷 貴

今シーズンでの主な競技成績

水口	LA 減点12
	MD 2反E
半澤杯	LA 減点0
新緑	LA 減点8
	MC S&H 減点24
春季	MC 減点28
国体予選	MC 減点24
	MC S&H 2反E
道大会	MC 2反E
北日	2回走行 第9位
	第一走行 減点16
	第二走行 減点20
全日	2回走行
	第一走行 減点40
	第二走行 減点40

馬歴二年の僕が調教をしたと言えるようなことは正直何もしてません。そのため、今年したことよりも紹介文を書きたいと思います。

知らない方も多いと思いますので、少しトウカイフラッグ（以下フラッグ）について書きますと2012年秋に函館競馬場から入厩しました。僕がフラッグに乗り始めたの

は翌年の2月中旬からです。小柄でプライアンスタイム産駒らしいポテツとした体型をしています。

フラッグのセールスポイントはなんといっても障害にむけたら勝手に跳んでくれるところです。競走馬時代に障害レースに出ていたこともあり、ある程度のペースで障害に向かえば、騎手が上で不安定に乗っていてもしっかり跳んでくれます。全日では減点40と10個も障害落下がありました。そんな中でも最後まで一生懸命跳んでくれました。初心者がほとんどの北大において、障害落下が多くても捕まっていれば完走してくれる馬というのは重宝されると思いますし、フラッグにはこれからそのポジションで頑張ってもらいたいと思います。

ウイークポイントには前にのめりやすいことが挙げられます。これは後肢よりも前肢の筋肉のほうが発達していたことと、自分の姿勢が前のめりやすかったことが原因の一つであると思うので改善の余地は十分残っていると思います。シーズンの途中で右前の球節を怪我してからしっかりと運動を出来ないまま試合に出ていたのも、来シーズンは後躯の筋肉をしっかりつけてバランスを後ろにもっていくような日々のトレーニングを行えば、試合でバーを落とす回数が減り、前肢にかかる負担が少なくなり怪我をしにくくなると思います。

まだ北大に入厩して1年です。競技に出場し始めたのも入厩後です。これほど早いステップで形だけでも130cmを帰ってくる人馬にさせていただけたのは、北大の前にいた函館競馬場で初期調教がしっかり成されていた、合宿先でしっかりと指導して頂いた、そして毎日平芳兄に練習を見つけて頂いたお陰であると思います。この場をお借りしましてお礼申し上げます。

まだフラッグは12歳と若く、全日で入賞できるポテンシャルがあるかどうかは疑問が残りますが、未経験者でも全日の権利を狙えるため、今後長い期間北大で頑張れる馬だと思います。そのためにも、今後のチーフにはセールスポイントを失わず、ウイークポイントを修正できるような練習方法を探して欲しいと思います。

◆北騾号（アップヒルティガー）◆



セン サラ 芦毛
平成20年3月10日生
米国/R&R King Stable
父 Unbridled's Song
母 King Shooting Star
平成24年9月15日入厩

平 芳 悠 人

北騾（アヒル）はいただいた当初、練習馬になればと思っていたのですが、少しやってみるとその高い能力を感じさせ、今では北大の次期エース馬になってくれるのではないかと考えています。動きは柔らかく、素直で、障害に対しても積極的であり、バスキュールもいい。将来をかなり期待できる馬だと思います。

ところが、今年は跛行が長引いたため、調教はあまり進めることができませんでした。跛行が治まり運動ができるときは、低伸運動を多く取り入れ、ストレッチをしっかりしながら背中の筋肉を鍛え、低い障害やブロックなどの狭くて小さい障害をゆっくりリラックスして跳ぶ練習を繰り返すようにしました。

今年は調教をあまり進めることはできませんでしたが、肢も少しずつよくなってきており、以上のような基本的なことを繰り返しながら試合での実践を積むことで、来年以降活躍してくれるのではないかと期待しています。

入 厩 報 告

◆ピュアメモリー号◆



牝 サラ 栗毛
平成14年3月12日生
門別町産
父 マヤノトップガン
母 ミルメモリーズ
平成25年4月13日入厩

梶 山 恭 子

ピュアメモリー号は大浦牧場さんから今年の4月に入厩しました。下級生が乗っても素直に動いてくれるので、1年生の試合デビューとして早速夏の大会にも出場しました。か細い見た目に反して丈夫だと思うので、これからも練習馬として長く活躍できると思います。

◆ペリエE号◆



セン 中半血 鹿毛
平成4年6月1日生
ベルギー産
父 BROWNBOY
母 EDELWEIS
平成25年6月入厩

中 津 裕 太

ペリエE号は大浦牧場さんから今年の夏に入厩しました。高齢な馬ですが年齢を感じさせないしっかりとした馬体で、かつては有名乗馬クラブで活躍しており、国体に出場した経験もあります。北大では下級生が高いレベルの試合経験を積むための練習馬として活躍してくれると思います。

北海道大学水産学部馬術部

主将 大石 岳人

初めまして。北海道大学水産学部馬術部の主将を務めさせていただいております、3年大石岳人です。私達は現在、3年生10人、4年生6人、院生10人の計26人で活動し、JRAのご厚意と4名の先生方の熱心な指導を頂きながら、日々練習に励んでおります。

今年度は練習体制に大きな変化がありました。馬術部の代名詞ともいえた平日の朝練が無くなり、代わりとして水曜日から金曜日の午後5時から7時の間に、ジョッキーを目指す少年団とともに夕練が行われるようになりました。因みに、休日の午前中練習はそのままとなっております。しかしながら、早起きすれば誰でも参加できた朝練から、3年生は学生実験が終わらなければ、4年生・院生は研究室の都合がつかなければ参加できない夕練への移行は、私たちに大きな制限を掛けているのが現状です。また練習機会の減少は、来年度以降の新入部員が知識・技術を習得するにもこれまで以上に多くの期間を費やさねばならないことも予想されます。

ですがそうした時こそ部活への積極的な意思が必要であると、私は考えております。北水馬術部は本学のように自馬を持っていないため、馬の管理において責任を感じる機会も多くはなく、その上練習参加に強制力はありません。ゆえに、練習機会の減少は部の活動に非常に大きな影響を与えております。この状況でも以前と同じ活気を保つ、もしくは盛んに活動するにはより一層のエネルギーが求められるでしょう。

暗い話が続いてしまいましたが、大変喜ばしい話題もあります。2013年3月で北水馬術部が50周年を迎えたことに加え、2012年の和田茜姉の全日本学生馬術女子選手権において13位という大活躍により、現役とOB・OGとの交流が一層盛んになりました。

また、OBの方々が中心となって50年史の作成や、OB名簿の再編成、欠落している部報の収集など精力的に活動してくださっています。このように応援してくださっている方々の気持ちに感謝し、応えられるよう努力いたします。

終わりになりますが北海道大学馬術部の益々のご活躍をお祈りすると共に、今後の交流もよろしくお願い致します。



卒部にあたって

● 林 はるか（水産・作業）

この度無事に卒部を迎えることになりました。正直馬術部で一番しんどいのは3、4年目だと思うので、先輩方と一緒に載せてもらうのがおこがましい気がします。

部活に関してはいろいろ思うところがありますが、全体的に見たら恵まれていたと思います。ドンパの人数が少なくていろんな人に大変だねと言われましたが、私としてはドンパが少ないことで困ったことも特になく（どちらかというとな人数少ない代の一つ下の方が大変そう）、むしろ人数が少ないおかげでたくさん試合に出られた気がしています。そしていちばんよかったと思うことは1年目のときは山川兄と北凜、2年目のときは松尾兄と北焔の北日・全日サブをさせていただいたことです。2頭とも北大の中堅どころだったことに加え、チーフが馬術部のスター山川兄とアイドル松尾兄だったことは非常に運が良かったと思います。おふたりの馬への姿勢、北日・全日に対する思いはとても刺激になりました。ありがとうございました。

函館でも馬術部に入ろうと思っているのでまた会うこともあると思います。そのときはネイチャーに乗せてください。函館にはネイチャーとマリオがないのが残念です。



● 高居名菜 (獣医・主務)

卒部から半年が経ち、現役のときはとても長く感じた三年半でしたが、思い返してみると部活以外のことは何も考えられずに、がむしゃらに駆け抜けた日々でした。毎日必死で、しかし三年半で何をやり遂げたかと聞かれると言葉に詰まります。こんな私がなぜ馬術部を続けたか、続けられたかという、とんでもない辛さとたくさんの楽しみ、喜びを共有する部員たち、それから何者にも代え難いかわいい馬たちが生活を彩ってくれていたからです。ありがとうございました。



● 平芳悠人 (理・主将)

今、一生懸命頑張っている現役の皆さんへ

あなたはなぜ馬術部に入部しましたか？

あなたは馬術部で何がしたいですか？ 何ができる部にしたいですか？

あなたが卒部したとき、あなたには何が残っていると思いますか？ 何を残したいですか？

あなたは馬術部で何を学びたいですか？ 何を学べるような部にしたいですか？

あなたは仲間とどんな関係になりたいですか？ どんな関係になれる部にしたいですか？

あなたが人生で大切にしているものは何ですか？ 何を大切にしていきたいですか？

あなたはどんな人生を送りたいですか？ そのために馬術部ではどう過ごしたいですか？

あなたはどんな人間になりたいですか？ そのためにどう行動するべきだと思いますか？

考えるべきことはたくさんあります。みなさんでよく考えてください。

また、その結果自分たちが本当に正しいと思ったことは自信を持ってやっていってください。そうすれば、きっとみなさんはこの4年間で他の人ではできないようなかけがえのない経験ができることと思います。

ただし、ひとつだけ注意しておくべきことがあります。

その考えは単なる自己満足ではありませんか？

きっと皆さんが真剣に考えたことなら、大きく道を外すことはないと思います。しかし、その考えが自己満足になっていることはよくあります。そのことによって（馬も含め）誰かを傷つけ、悲しませ、迷惑をかけることになってしまうでしょう。

最後に、みなさんに一番大事な質問をします。

今、みなさんは楽しいですか？

あなただけではありません。みんなで楽しめていますか？

この4年は一生に一度しかありません。みんなで馬術部生活を楽しんでください。

皆さんが馬術部での経験を通して、これから先、豊かで幸せな生活を送っていただけることを心より願っています。



● 松尾 慧 (文・北日幹事長)

自分にとって馬と共に過ごした4年間は、人生の中でも非常に価値ある物になったと思います。4年間、本当に馬のことだけを考えて生活し、部活以外の人間関係が非常に危うくなってしまった気がします。しかし、他のことを犠牲にしても馬術部に入って良かったと思っています。馬術部生活を通して騎乗技術の他にも、社会の厳しさの一端を知ることが出来ました。その意味でこの四年間で成長できたと感じています。

特に4年生になってからは、部活のトップとして責任感とリーダーシップを多く学べました。実行できたかは別として。ドンパは最終的には3人になってしまい、本当に大変でした。馬術部がこれまで積み重ねてきた借金が発覚したときは本当に何も言えませんでした。新しいことがしたくてもお金がない。そんな中で3人がそれぞれの役目を全うし、馬術部を維持できて安心しています。

また、北日本学生の幹事長を勤めました。自己犠牲は必要であると自分に言い聞かせていたが本当に嫌で嫌でたまりませんでした。あの時断固拒否すべきだったのか。いや、実際に断固拒否したがいつのまにか、、、自分は選手、箱番長、幹事長、北日会計、ドライバーなど何でも出来るユーティリティープレイヤーになることが出来たとプラスに捉えるようにします。就活にも役に立った気がしますし。

最後に、自分が馬術部生活を送っていく中で非常にたくさんの方々にお世話になりました。馬関係者のご厚意に甘えてばかりで本当に申し訳ない気持ちで一杯でした。本当に頼りなく危なっかしい人間ではありましたが、暖かく見守っていただき本当にありがとうございました。





部員紹介

3年目

○ 梶山 恭子



学部	工学部
好きな馬	ピュア、ネイ
馬術部に入ってよかったこと	色んな人に出会って良き仲間ができたこと
馬のここが好き	鼻らへんがムニュってしてて可愛い
ひとこと	そんな鼻をくっつけてくると尚可愛い

○ 小山 寛



学部	工学部
好きな馬	トウカイフラッグ
馬術部に入ってよかったこと	風邪をひかなくなった
馬のここが好き	真面目な所
ひとこと	怠け癖治したい…

◎ 笹原良平



学部	工学部
好きな馬	アヒル
馬術部に入ってよかったこと	動物と関わって動物に対してのイメージが変わったこと
馬のここが好き	子どもみたいなところ
ひとこと	人が好きになれる部活にしたいな

◎ 佐藤詩織



学部	獣医学部
好きな馬	あひる
馬術部に入ってよかったこと	少し社交的になれたと思う
馬のここが好き	自己中なところ、馬だから許せるむしろかわいい
ひとこと	傷つくことは磨くこと、人間強くなれます

◎ 東 谷 貴



学部	工学部
好きな馬	みんな好き
馬術部に入ってよかったこと	考え方が大きく変わったこと
馬のここが好き	馬の優しい眼差しが好き
ひとこと	インドアが欲しい

◎ 藤 村 伊 咲



学部	農学部
好きな馬	みんな好き
馬術部に入ってよかったこと	人間的に大きく成長出来たこと
馬のここが好き	なんだかんだで全部好き
ひとこと	あともう少しがんばります

◎ 松村 萌美



学部	農学部
好きな馬	フラッグ
馬術部に入ってよかったこと	少し自信がついた気がする
馬のここが好き	全部好き。強いて言えば大きさ
ひとこと	今はとにかく頑張ります

2年目

◎ 新谷理紗



学部	農学部
好きな馬	アップヒルティガー
馬術部に入ってよかったこと	1日が長く充実していること
馬のここが好き	唇のふにふにくあい
ひとこと	睡魔に負けない強さが欲しいです

◎ 中津裕太



学部	農学部
好きな馬	バンス、スベ、ペリエ
馬術部に入ってよかったこと	いろいろな人に会えたこと
馬のここが好き	嘘をつかないこと
ひとこと	馬ってなんなんでしょうね？

1年目

◎ 大村 侑己



学部	獣医学部
好きな馬	おっとり系の馬
馬術部に入ってよかったこと	毎日がんばれるところ
馬のここが好き	かわいいところ
ひとこと	一歩ずつしっかり成長したい

◎ 佐治 ひな子



学部	医学部
好きな馬	ログキャビン
馬術部に入ってよかったこと	馬と人との出会い
馬のここが好き	言葉にできない。全て。
ひとこと	上手になりたい

◎ 清水 麻優美



学部	獣医学部
好きな馬	ピュアメモリーとアップヒルティガー
馬術部に入ってよかったこと	馬の魅力が分かったこと
馬のここが好き	時々見せる賢さ
ひとこと	卒部まで生き残れるよう頑張ります

◎ 谷口 宏平



学部	法学部
好きな馬	ネイチャー、ピュアメモリー
馬術部に入ってよかったこと	あまり経験出来ないことをする機会がたくさんあること
馬のここが好き	大きさ。かっこよさ。必死に伝えようとすれば応えてくれるところ
ひとこと	気難しい感じの馬とも仲良くなれたらいいなと思います。

◎ 中 一 輝



学部	経済学部
好きな馬	チェリーアドミラル
馬術部に入ってよかったこと	知らない人と簡単に話せるようになった
馬のここが好き	大きい
ひとこと	自分のペースで頑張ります

NORTHERN HORSE PARK

Heating Garden

四季の彩りと 大地の恵み 自然を楽しむ 豊かな休日

新見学厩舎 4月オープン!

ノーザンホースパーク
NORTHERN HORSE PARK

〒059-1361 北海道苫小牧市美沢114-7 TEL0144-58-2116 FAX0144-58-2377
www.northern-horsepark.co.jp

ノーザンファーム 騎乗スタッフ募集

馬術で鍛えた技術を
競走馬に活かしませんか?

未経験者歓迎 経験あり

◇お問い合わせ (平日 9:00 ~ 17:00)

0145-22-3453
(担当者 / 坂崎)

Northern Farm 北海道勇払郡安平町早来源武 275
TEL 0145-22-3453 FAX 0145-22-3222

SOEN

DRIVING SCHOOL

北海道大学から

一番近い自動車学校。

北海道大学

桑園自動車学校

桑園駅



オートマチック教習はすべてプリウス



道内初 電気自動車リーフ

※路上教習の一部に使用

北海道公安委員会指定校・技能試験免除校



桑園自動車学校

札幌市中央区北8条西14丁目 (JR桑園駅前・イオン桑園店屋上)

Tel (011)271-7511

インターネット・携帯電話アドレス
<http://www.soen-driving-school.co.jp>



編集後記

まず始めに、部報の発行が当初の予定より3ヶ月程遅くなってしまったことを、心よりお詫び申し上げます。

今回の部報では、例年の部報と少しだけ変えてみました。調教報告の馬の写真を普段部員が携帯などで撮影したのものを使ったこと、部員紹介では自己紹介のような形にしました。後者は、OBの方からアドバイスをいただいたので、変えてみました。

私は1年の時から部報作成をしてきて、本来ならば後輩に引き継ぐはずが後輩の人数が少ない等の理由から、遂に3年間部報作成をすることになりました。この3年間で部報の意味について考えたのですが、大きく分けて2つに分けられると思います。後輩たちに今の状況を残していくこととOBの方に部の現状を知ってもらうことです。そのため、部報は客観的に見て分かりやすいものにする、予定通りに発行しなるべく最近の情報を掲載することが必要になってくるのだと思います。

まだ部報は改善できることがあります。ぜひOBの方は改善して欲しいところがあればアドバイスしていただけたらと思います。

部報がOBの方と現役部員をつなぐ存在になってくれることを願っています。

最後になりましたが、広告掲載させていただいた企業の皆様、お忙しい中、時間を割いて原稿を書いてくださったOBの方を始め、日々部を支えてくださっているOBの皆様、編集を手伝ってくれた現役部員に心から感謝申し上げます。

今後とも、北大馬術部をどうぞよろしく願いいたします。

松村 萌美

北海道大学馬術部部報 第59号 平成26年 7月発行
編集者 北海道大学馬術部部報担当
松村 萌美
印刷所 ひまわり印刷株式会社
〒065-0030 札幌市東区北30条東6丁目2-1
発行所 北海道大学馬術部
〒001-0023 札幌市北区北23条西12丁目
TEL・FAX 011-737-1626
銀行口座 北洋銀行 391-1-0443731
表紙元写真撮影者 井上 京



部 報

平成25年度 No.59

北海道大学馬術部

